

教育委員会会議録（２月定例会）

日 時

令和 7 年 2 月 2 6 日（水）
午後 2 時 3 0 分から午後 3 時 1 0 分まで

場 所

日立市役所 3 0 4 ・ 3 0 5 号会議室

出席委員

教育長	折笠 修平
教育長職務代理者	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	小野 智久
委 員	額賀 隆

委員以外の出席者

教育部長	宮内 雅弘
理事	窪田 康德
総務課長	作山 直弘
総務課課長	高橋美奈子
学校施設課長	高瀬 稔
学務課長	北見 裕
学務課課長	富岡 道雄
学校再編課長	酒地 康彦
学校再編課課長	鈴木 康世
生涯学習課長	齋藤 広美
スポーツ振興課長	玉置 伸一
スポーツ振興課課長	市原 慎也
指導課長	青木 房子
指導課課長	佐川 正城
記念図書館長	鈴木 弘嗣
郷土博物館長	島崎 信彦
北部学校給食共同調理場長	根田 容子
教育研究所長	諸橋 正和
総務課課長補佐（兼）庶務係長	塙 智光
総務課課長補佐（兼）計画財務係長	西野 晃平
総務課係長	澤田 貴子
総務課主事	上遠野 宰

議 事

報 告

報告第 2 号 教育委員会 1 月定例会の会議録について

議 案

議案第 1 号 令和 7 年度教育委員会予算の提案について

議案第 2 号 令和 6 年度教育委員会 3 月補正予算の提案について

議案第 3 号 日立市立学校設置条例の一部を改正することについて

その他

(1) 令和 7 年第 1 回市議会臨時会について

(2) 令和 7 年度小規模特認校への就学予定について

会 議 の 概 要

1 開 会

教 育 長 ただ今から、教育委員会 2 月定例会を開会します。

本日は、傍聴希望者が 1 名おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員 結構です。

2 報 告

報 告 第 2 号 教育委員会 1 月定例会の会議録について

教 育 長 まず、報告第 2 号について、御意見等はございませんか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 議 案

議 案 第 1 号 令和 7 年度教育委員会予算の提案について

教 育 長 続いて、議事に移ります。
議案第 1 号について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長 令和 7 年度の教育委員会予算について、提案するものです。
歳出予算の合計額は、8 9 億 1, 0 6 5 万 6 千円です。
令和 6 年度予算、歳出予算の合計額は、8 5 億 1, 1 1 8 万 2 千円ですので、前年度との比較では、3 億 9, 9 4 7 万 4 千円の増額となります。
新年度予算の主な増減要因について御説明します。
主な増要因ですが、運動公園野球場再整備事業、2 億 3, 8 9 2 万 7 千円の増、情報教育環境整備事業、1 億 8, 7 8 3 万 3 千円の増、日立特別支援学校校舎等改築事業、1 億 2, 3 0 5 万 7 千円の増、日立風流物収蔵施設整備事業、4, 2 8 2 万 5 千円の増などです。
主な減要因は、教科書改訂事業、7, 1 9 3 万 2 千円の減、中学校運営経費、4, 4 3 3 万 1 千円の減、スポーツ広場等施設整備事業、3, 5 0 1 万 8 千円の皆減、小学校運営経費、3, 0 8 6 万 1 千円の減などです。
次に、令和 7 年度の主要事業の概要について御説明します。
始めに「学校教育」です。

N o . 1、奨学金制度拡充事業、2, 6 0 3 万 8 千円です。

奨学金を利用して大学等を卒業した方が市内に居住する場合の返還金を助成することにより、若者の定住促進に向けた取組を進めるものです。

N o . 2、情報教育環境整備事業、6 億 5, 2 9 8 万 2 千円です。

令和 2 年度に導入した機器の賃貸借期間満了に伴う更新と設定委託などを含むもので、I C Tを活用した教育の更なる充実を図るものです。

N o . 3、日立特別支援学校校舎等改築事業、2 億 1, 4 6 8 万 7 千円です。

校舎の老朽化等が進んでいる日立特別支援学校の施設整備に向けた、基本設計・実施設計の業務委託にかかる経費です。

N o . 4、施設整備事業、8, 2 2 3 万 5 千円です。

会瀬小学校法面改修工事や校舎等定期点検委託を始め、学校の仮設校舎及び渡り廊下の賃借料などの環境整備を行うものです。

N o . 6、小・中・義務教育学校、特別支援学校の学校給食費無償化事業及びN o . 7、学校給食食物アレルギー対応事業を、引き続き実施し、保護者の負担軽減を図るものです。

N o . 9、新入学児童用ランドセル購入事業及び新入学生徒用スクールカバン購入事業、2, 9 3 0 万 6 千円です。

新入学児童及び生徒に対し、入学祝としてランドセル及びスクールカバンを贈呈するものです。

N o . 1 1、学校再編推進事業、1, 6 7 3 万 9 千円です。

「日立市立学校再編計画」第 1 期に位置付けた再編対象校への説明会や統合準備委員会の開催を始め、令和 7 年 4 月予定の平沢中学校・駒王中学校の統合、坂本中学校・久慈中学校の統合、令和 8 年 4 月予定の山部小学校・櫛形小学校の統合に向けて、準備等を進めます。また、昨年 4 月に開校した坂本東小学校において、旧東小沢小学区から路線バスで通学する児童を支援するため、引き続き通学費補助及び通学利用路線バス確保対策補助を行います。

N o . 1 3、児童クラブ運営経費、4 億 7, 1 2 3 万 9 千円、N o . 1 7、放課後子ども教室推進事業、5, 2 4 9 万 4 千円です。

公設児童クラブのクラス数の拡充や、民間児童クラブに対する補助、放課後子ども教室の実施など、全ての児童が安全・安心に過ごせる放課後の居場所づくりを推進するとともに、民間児童クラブの支援員等処遇改善のために、新たな補助金を交付します。

N o . 2 4、部活動地域移行検討事業、5 7 0 万 6 千円です。

令和 7 年度末までに、休日の部活動を地域に移行する、国・県の方針に基づき、設置した「部活動の段階的な地域移行に向けた検討委員会」を引き続き、開催するとともに、N o . 2 5、関連歳入の県の地域スポーツクラブ活動体制整備事業委託金を活用して、総合型地域スポーツクラブなどに地域移行の取組の実践を委託するも

のです。

N o . 2 8、学校教育推進事業、1, 4 6 1 万 7 千円です。

児童生徒の学校における満足感を把握し、きめ細やかな支援につなげるため、学校満足度調査「WEBQU」を小・中・義務教育学校の全学年で実施するものです。

N o . 3 3、教科書改訂事業、2, 3 4 5 万 8 千円です。

中学校の教科書改訂に伴い、教員用の教科書及び指導書を購入するもので、使用期間は令和7年度から令和10年度までの4年間で

続いて、生涯学習に関する事業です。

N o . 4 2、ひたち大好き博士事業、2 3 5 万 6 千円です。

「ひたち大好きパスポート」を全児童生徒に配布し、公共施設の利用促進や地域のイベント・体験活動への参加等の促進を図るものです。

N o . 4 5、ラジオ体操普及事業、2 4 1 万 9 千円です。

引き続き、令和7年度も日立市長杯ラジオ体操コンクールを開催するなど、ラジオ体操の更なる普及促進に向けて取り組むものです。

N o . 4 9、電子書籍貸出サービス事業、4 0 2 万 6 千円です。

読書活動の充実のため、来館せずにインターネットで貸出しや返却ができる電子書籍貸出サービスの更なる利用促進を図ってまいります。

全児童生徒にID・パスワードを配布し、電子書籍の活用を促進し、子どもたちの読書活動の推進を図ります。

N o . 5 4、日立風流物収蔵施設整備事業、1 億 4, 4 3 8 万円です。

ユネスコの無形文化遺産に登録されている日立風流物の収蔵施設を整備するものです。複数年にわたる事業ですので、継続費を設定しております。

続いて、スポーツに関する事業です。

N o . 5 7、社会体育促進事業、2, 9 3 9 万 9 千円です。

プレゴールデンエイジ育成モデル事業のほか、総合型地域スポーツクラブや日立さくらロードレースへの支援・補助などを行います。また、令和7年度新規事業として、中学校部活動の地域移行に伴い、その担い手となるスポーツ少年団等の育成や支援を目的として、日立市スポーツ協会に補助するものです。

N o . 5 9、ひたちシーサイドマラソン補助事業、7 千万円です。

秋冬最大のスポーツイベントとして、昨年度に引き続き、フルマラソン大会を11月に開催し、生涯スポーツの環境づくりのほか、交流人口の拡大と新たな観光資源の発掘を図ります。

N o . 6 4、運動公園野球場再整備事業、1 9 億 7, 3 8 4 万 7 千円です。

複数年に渡る事業ですので、令和５年度から令和８年度までの継続費を設定しております。

参考資料です。

市全体の令和７年度一般会計歳出予算案です。

予算総額７６１億３，０００万円のうち、教育費の占める割合は、１１．９％となっております。

なお、このページの教育費予算額につきましては、保健福祉部や生活環境部の事業など教育委員会所管外分も含まれていることを申し添えます。

委員 教育費の占める割合が１１．９％であり、昨年度より歳出予算が増えています。

これは、日立市の教育を大切に思う予算だと思います。

学校教育、生涯学習、スポーツに関わる取組に関してですが、新規事業、学習への予算が適切に措置されていると感じました。

特に、児童生徒用タブレットＰＣ等の運用及び更新に伴う情報教育環境整備事業については、スピード感を持って取り組んでほしいと思っています。

また、学校給食費無償化事業については、本当に素晴らしく、ありがたい取組だと思っています。

さらに、中学生地域スポーツ活動支援事業補助については、中学校部活動の地域移行に伴って、担い手となるスポーツ少年団等の育成や支援であり、とても重要な補助だと考えています。

質問が３つほどあります。

１つ目、令和７年度教育委員会の予算の概要の中の主な減要因、小学校、中学校費の減額等について教えていただければと思います。

２つ目、４２番のひたち大好き博士事業、５０番の子ども読書活動推進事業、それぞれの減額されている理由を教えてください。

３つ目、２１番の生活指導員配置事業において、現在７３名が配置されていますが、学校からの要望に応えられる配置人数になっているのか伺いたいです。

学校施設課長 小・中学校の運営経費減額の理由でございますが、学校事務員及び学校図書事務員の業務内容の見直しに伴いまして、小・中学校に配置されているに人員数を削減したことから、事務にかかる人件費の予算が減額となっております。

また、消耗品費、光熱水費、修繕費などの物件費の減額が主な理由として挙げられます。

生涯学習課長 ひたち大好き博士事業では、紙のひたち大好きパスポートの配布

をしているところですが、令和4年度からひたち大好きパスポートアプリを導入いたしました。

しかしながら、利用率は、初年度の令和4年度でも、利用者数が351人、全児童数の約3%、令和5年度では、182人、全児童数の1.7%、今年度は、1月末現在で57人、0.5%の利用となっております。

また、利用者の9割が1回のみ利用であることなどを鑑みまして、令和7年度からは廃止をすることが、減額の理由となっております。

ただ、デジタル化に逆行するものではなく、今年度印刷分のひたち大好きパスポートには、さくらまつりなどのWEBサイトを表示できるQRコードや、「ラジオ体操の父 遠山喜一郎」の動画が見られるQRコードなどを設けまして、随時検索できるようにする予定でございます。

今後、様々な諸状況を勘案しながら、より多くの児童生徒が利用しやすいデジタルツールについての検討をしていきたいと考えております。

記念図書館長

子ども読書活動推進事業の減額理由についてですが、子ども読書活動推進アドバイザーの人件費にかかるもので、勤務日の日数が少なくなったことによる減額になっております。

その他には、消耗品費、備品購入費、賃借料などの物件費の減額が理由となっております。

指導課長

来年度の生活指導員の配置希望人数の合計は221名でした。

全ての児童生徒についてのヒアリングを行い、判定会議を開きまして、適切な73名の配置を決定しているところでございます。

要望に応えられているかということにつきましては、希望人数の配置をできれば良いと考えておりますが、生活指導員のなり手も多くない現状、また市の予算の現状の中で、子どもたちのために今年度と同様の73人を維持できたことは成果の1つでもあると捉えているところでございます。

委員

学校施設課では、消耗品費が減額されたということですが、消耗品とは具体的に何を購入されていますか。

学校施設課長

学校で使用するコピー用紙やペンなど、事務用品を購入しています。

委員

学校訪問の際に、中学生の机が小さく、体に合っていないようでした。そういったものを購入する際は、市の補助金で購入することはできますか。

学校施設課長 机等の購入につきましては、学校からの要望を受け、市の予算にて購入し、現物を学校に配置することとなっております。
予算の範囲内にはなってしまいますが、できるだけ学校の要望に応えたいと考えております

委 員 学校経理図書事務員の現状を教えてください。

学 務 課 長 学校経理図書事務員の現状ですが、1月21日から1月31日の間でホームページにて公募をし、2月5日から2月7日の3日間で、面接を実施したところです。
現在、選考中となっております。

委 員 予算の要望ですが、当初予算の目的を忘れないようにしてほしいのと、縦割りではなく、横のつながりを持って、貴重な財源を協同して使っていただきたいと思います。

教 育 長 それでは、議案第1号について、可決することよろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第1号については、原案可決と決しました。

議 案 第 2 号 令和6年度教育委員会3月補正予算の提案について

教 育 長 次に、議案第2号について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長 3月補正予算額です。
1番、歳入歳出予算です。
補正額1億4,368万7千円を減額し、補正後の額を20億9,517万円とするものです。
歳出につきましては、補正額8,641万1千円を減額し、補正後の額を84億7,856万2千円とするものです。
3月補正予算の内訳です。
No.1、児童福祉総務費、児童クラブ運営経費、905万7千円の減額は、人事院勧告等の人件費整理に伴う増額と、民間児童クラブ運営費補助の不用額を減額するものです。
続きまして、教育費です。
減額補正する事業の多くが、契約差金の整理などによるものとなり、増額補正する事業の多くが、人事院勧告等に伴う人件費の整理などによるものとなります。

N o . 8、教育指導費、学習支援対策事業費、1 1 3 万 4 千円の減額は、副読本の「わくわくサイエンス」の廃止に伴う印刷製本費の減額です。

N o . 9、豊かな心と健やかな体の育成事業費、1 5 5 万 6 千円の減額は、水泳学習が中止となったことに伴うバス借り上げ料の減額です。

N o . 1 1、学校教育推進事業費、1 7 万 6 千円の減額は、児童生徒数の減少に伴う学校満足度調査「W E B Q U」の使用料の減額です。

N o . 2 2 及び N o . 2 4 の中学校管理費、坂本中学校・久慈中学校統合事業費、9 5 万 8 千円、1 3 8 万 6 千円のそれぞれ減額は、統合準備委員会による協議の結果、新しい校歌や校章について、開校後の学校の様子などを踏まえた上で、制作することとなったため、減額するものです。

N o . 2 5、中学校教育振興費、就学援助事業費、2 5 9 万 3 千円の増額は、支給単価の増額によるものです。

N o . 2 8、社会教育総務費、地域学校協働活動推進事業費、7 1 万 9 千円の減額は、地域学校協働活動推進員の活動実績に基づき減額するものです。

N o . 3 1、豊かな体験支援事業費、1 万 7 千円の減額は、関連歳入である茨城県補助の減額により充当先の報償費を減額するものです。

N o . 4 2、保健体育総務費、運動公園施設運営経費、3 9 3 万 5 千円の増額は、運動公園の光熱水費増額に伴う指定管理料の増額です。

N o . 4 3、スポーツ広場等施設運営経費、4 8 7 万 4 千円の増額は、スポーツ広場等の光熱水費増額に伴う指定管理料の増額です。

N o . 4 4、運動公園野球場再整備事業費（継続費）、1 億 4 , 4 3 3 万 4 千円の減額は、工事等の年度割額の変更に伴う減額です。

2 番、継続費補正（変更）です。

N o . 1、保健体育費、運動公園野球場再整備事業は、財源である国庫補助金に合わせた事業進捗により、工事等の年度割額が変更となったため補正するものです。

3 番、繰越明許費補正です。

N o . 1、教育総務費、日立特別支援学校校舎等改築事業の地質調査業務委託は、配置計画の一部見直しを行ったため、業務が年度内完了を見込めないことから令和 7 年度に繰り越すものです。

N o . 2、保健体育費、運動公園野球場再整備事業の地上デジタルテレビ電波障害対策業務委託は、運動公園野球場整備工事着工の遅れにより、電波障害の原因となる建築物の工期が遅れたため、年度内完了を見込めないことから、令和 7 年度に繰り越すものです。

4 番、地方債補正につきましては、それぞれの歳出予算の増減額に合わせまして、財源の整理を行うものです。

教 育 長 それでは、議案第 2 号について、可決することよろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第 2 号については、原案可決と決しました。

議 案 第 3 号 日立市立学校設置条例の一部を改正することについて

教 育 長 次に、議案第 3 号について、学務課課長から説明をお願いします。

学 務 課 課 長 日立市立田尻幼稚園を廃止するため、本条例の一部を改めるものでございます。

令和 6 年 4 月から休園中の田尻幼稚園につきましては、幼児施設の適正配置方針に基づき、3 月末をもって廃止するため、条例の別表から削除するものでございます。

教 育 長 それでは、議案第 3 号について、可決することよろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第 3 号については、原案可決と決しました。

3 そ の 他

(1) 令和 7 年第 1 回市議会臨時会について

教 育 長 続いて、その他に移ります。
その他(1)について、御質問や御意見はございますか。

委 員 今後、統合準備委員会の進め方で配慮していくべき事項等について伺いたいです。

学校再編課長 今後においても、学校規模が縮小化していくことが予想されておりますので、子どもたちが学校生活を仲間と一緒に送ることができる教育環境を維持していくためには、学校再編は避けられない状況になっております。

丁寧な周知、広報に努めながら、保護者の皆様や地域の皆様の御理解、御協力を得られるよう、統合準備委員会を引き続き進めてい

きたいと考えております。

委員 人口減少が著しい中で、再編計画の見直しをする予定はありますか。

学校再編課長 令和3年2月に、日立市立学校再編計画を策定したところでございます。

この計画は、20年先を見据えて、5年間で1期として4期に分けて取り組むこととなっております。

そして、計画を策定した時から、人口動態等を踏まえまして、3年程度を目安に再編の進捗を検証した上で、計画内容の見直しを行うこととなっております。

そのため、令和7年度に検討委員会を設置いたしまして、計画の見直しを実施する予定でございます。

(2) 令和7年度小規模特認校への就学予定について

教 育 長 次に、その他(2)について、学務課課長から説明をお願いします。

学 務 課 課 長 1 番の児童生徒数です。

小学校に相当する前期課程は合計39人となっており、新たに入学する1年生につきましては、5人を見込んでおります。

また、中学校に相当する後期課程は合計28人の見込みで、前期と後期過程を合わせた人数は、67人となり、前年度に比べて8人の減少を見込んでおります。

また、小規模特認校制度による就学者につきましては、前期過程は合計32人で、児童数全体の約82%、後期課程は、合計24人で、生徒数全体の約86%が小規模特認校制度の利用者となる見込みです。

委 員 学区外から中里小中学校を選ぶ理由を伺いたいです。

また、小規模で人数が少ないという理由以外で、何か魅力を感じて、中里小中学校を選んでいるのか、教育委員会としての見解を伺いたいです。

学 務 課 課 長 小規模校の良さは、学習状況や学習内容の定着状況が、的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めた、きめ細やかな指導が行いやすいメリットがあるため、これを理由に就学する児童生徒が増えていところでございます。

また、今の学校に馴染めない児童生徒も、人数が少ないということで入学をされる児童生徒もいらっしゃるかと思います。

また、中里小中学校にはコミュニケーション科という独自の特設

教科を設けており、ALTが学校に常駐し、子どもたちは日常生活の中で生きた英語や海外の文化を学ぶことができること、また、外部講師を招いて落語や能学等の体験をすることで、自己表現力の育成を目指していること、さらに、豊かな自然に囲まれた地域でありますので、田植え、稲刈、りんご栽培のお手伝いなど、貴重な体験を積むことができるとともに、地域の方との交流を深めることができるのが特徴でございます。

委員 最近、不登校対応が難しくなっているのが現状だと思っております。

この案件は、不登校支援のヒントになり、児童生徒のニーズや保護者の想いが表れていると思います。

参考にしていただいて、不登校支援の発展に努めていただきたいと思います。

5 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 令和7年3月27日（木）午後1時30分から、日立市役所3階304・305号会議室で開催予定です。

6 閉 会

教 育 長 以上をもちまして、教育委員会2月定例会を終了いたします。

以 上